

## 令和6年度第5回葉山町総合計画審議会議事録

日 時：令和7年3月28日（金）15：00～16：30

場 所：葉山町役場庁舎3階 議会協議会室1

出席者：臼井会長、津吉委員、陸永委員、伊藤委員、富樫委員、高梨委員、早川委員  
町田政策財政部長、佐野政策課長、大屋主任、山田主任、関田主事

欠席者：近藤委員、福安委員

### 開 会

#### ○事務局（大屋主任）

皆さん、こんにちは。お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、これより令和6年度第5回葉山町総合計画審議会を開催させていただきます。

毎回のお願いで恐縮ですが、発言の際にはスイッチを入れてから、お話いただきますようお願い申し上げます。

それでは、臼井会長お願いします。

#### ○会長（臼井正樹）

令和6年度の最後、第5回目の総合計画審議会を始めたいと思います。

今日は総合計画そのものというよりは、その周辺の関係の仕事について、幾つか議題が用意されているようです。どうぞよろしくお願いします。

それでは、議題に入る前に、会議の成立状況について事務局から御報告をお願いします。

《会議の成立について報告》

《傍聴1名入室》

《資料確認》

### 1 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況（令和5年度）について

#### ○会長（臼井正樹）

それでは、いよいよ今日の議題に入っていきたいと思います。

2の議題のところ、（1）第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況についてということで、事務局のほうから説明をお願いします。

《事務局説明》

#### ○会長（臼井正樹）

御説明ありがとうございました。

（1）第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を、特に前段は資料2も使

いましたけど、資料1を使って御説明いただきました。

今、御説明いただいた内容について、御意見や御質問がありましたらお願いします。  
いかがですか。

**○委員（高梨麻美）**

文言についてなんですけれど、達成できなかつたが達成に向けた取組みが明確であるという表現について、これは令和5年度中にやった取組が明確にあったよという意味なのか、それとも令和6年度中にこの目標値に迫るようなことができる手立てがもう明確に決まっているという意味合いなのか、どちらなのか教えてください。

**○事務局（大屋主任）**

判断基準についてだと思いますけれども、令和6年度に達成できるかまで言い切れるかまでは、おそらく各課のほうも何とも言えないなと思っています。

ただ、当然、課題の把握ですとか、それに課題の解決に向けた取組みに関しましては、明確に把握できている、そういった意味だと考えていただければと思います。

**○委員（高梨麻美）**

ありがとうございます。

では、ここに書かれている文言の中には、令和5年度だけではなく、その先も見通せているということですね。

**○事務局（大屋主任）**

はい。

**○委員（高梨麻美）**

ありがとうございました。

もう一つですが、基本目標の2の目標値に対して、子育て支援策の満足度の数値が低いというお話が先ほどあったところですが、各項目を見ると、おおむね達成できているというような評価や、大きな課題があるとされている領域がないように見えます。これらの目標が達成されても、なおこの数値が低いという状況に対して、今後の新たな考え、施策などを御検討している状況があるのか、可能な範囲で教えていただければうれしいです。

**○会長（臼井正樹）**

可能な範囲でコメントしてください。

**○委員（高梨麻美）**

難しいところだと思うので、多分、それを検討する必要があるなという認識はおありでしょうかというような形です。

**○事務局（佐野課長）**

申し訳ないんですけども、これについてお話があったとおり、結局各単位の施策については、確かにそれぞれが達成に向けて順調に推移しているものの、こちらの大きな満足度という部分については、なかなか乖離が見られるという話なので、果たしてこれが全部、下の項目が達成できたら皆は満足されるのかと、市民の満足度は上がるのかという話については、因果関係みたいなものが、少しやっぱり違うところにあるのかなという部分もあります。

こういった満足度を指標にすることの難しさ、主管の難しさはあるとは思いますが、この辺の数値目標は、これが適当なのかなという部分も含めて、担当課のほうと意見交換等をしてまいりたいと思います。

**○委員（高梨麻美）**

ここで低い理由の数値の話をして、少し分析する必要があるというところの共通認識を持っていくということが大事なのかなと思うのと、もしかすると交通の利便性とかで、不満だというふうに書いていらっしゃる方が、3のほうで改善されたらこちらの2のほうもよくなったということもあり得るんじゃないかなというふうに思うので、それぞれの目標ごとだけでなく、全体的なところも見ていくのが大事なのかなというふうに感じました。

**○事務局（大屋主任）**

御意見ありがとうございます。

**○会長（臼井正樹）**

子育て支援施策の満足度に対して、答えた人がどういう対象なのかというのがまず分からないと、コメントができません。例えば、子供のない人、あるいは高齢世帯の住民の方も、ここ答えているとしたら、その町の全体を見て、例えば50歳以上の方だったら、子供の数が減っているよなと思えば、満足しないですね。

だけど、もう一つ大事なのは、子供を持つ可能性のある、あるいはまだ小さい子を持っていらっしゃる世帯の人たちがどう考えているかというのがあって、その満足度と町民全体の満足度とをどう考えるんだという話のところ整理されないと、これは上と下がつながるかどうかは分からない。

そういう意味では、さっきおっしゃってくださったように、両方から聞こえてきたけ

ど、この上の指標が適切な回答が数値として出てきているのかどうか、そこの議論をしていただいて、必要によっては調査の取り方とか指標のつくりを変えるみたいなことを考えないとうまく成立しないですよ。

**○委員（高梨麻美）**

先ほどの説明を聞く前に、私、資料をいただいたものを拝見していたときに、何でこの数値で達成したと言えるんだろうというふうに思ったところが幾つかあったんですが、大屋様の説明を聞くと、そういうことかって分かることもありました。

指標は、やはり数年前につくっているもので、その当時と今とで変わったところがあって、それを総合的に見た結果、この指標ではないけどこういうふうな面で達成できたということを、ただお話しただけだと分からないという状態になっているので、それがこの資料の中に、何らかの形で残るようにしていただければ、非常にいいなというふうに感じました。

**○会長（臼井正樹）**

そうですね。一番上の指標だけに頼るのではなくて、過去につくった指標に頼るのではなくて、分析ができるのであれば、分析したものをその下の表の中に落とし込んで説明をしていただくと、よりありがたいということですね。

**○委員（高梨麻美）**

はい。

**○会長（臼井正樹）**

次回以降の工夫をしてみてください。

あと、いかがでしょうか。

**○事務局（大屋主任）**

補足で、この子育て支援策の満足度の調査対象者につきましては、令和6年1月10日時点の町内の未就学児がいる御家庭と、令和5年12月19日時点の町内外に通っている小学生について、未就学児プラス小学生の保護者に対しまして、アンケートを取っています。

母数で言いますと、大体3,100人程度の家庭にお送りして、ただ今は回答率は出てこず、そこが下がるとは思いますが、そういったアンケート結果になっています。なので、町民全体の子育て支援策の満足度ではなくて、いわゆる子育て世帯という形になります。

**○会長（臼井正樹）**

ということは、年配の住民の方の意見が反映しているというよりは、子育てに関して現役の世代の人が答えているという中で、満足度が低いということは、何が起きているかというのは、次のことを考えれば、例えば第2子をなかなか育てる環境に十分至っていないとか、そういう趣旨のことなんでしょうね。だから、そこを想像しながら、想像力を働かせながら次のことを考えていただくのがいいのかなと思います。ありがとうございます。

**○委員（高梨麻美）**

今の点は、同世代の他地域に住んでいる方と比較されることも非常に多い印象があって、横浜だとかだよというふうなのを知って、そうすると葉山はこうだなというものもあるかなというふうに感じました。

**○会長（臼井正樹）** ありがとうございます。

あと、いかがでしょう。ほかの場所で御意見があれば、お願いします。

**○委員（津吉彰郎）**

私は、最初の基本目標1のほうにずっと目がいつているんですけども、これは先ほどの計画設定時点と今とでは、もう設定何というんですかね、条件が違うということも含めてなんだろうと思いますけども、一番上のこの最初の設定のときに、67万8,000人いたというものが目標値では68万になっています。しかし、いきなり間が落ちているわけですね。落ちっぱなしで、しかも右肩下がりになっているというのに対する評価が、おおむね達成したと書かれると、やっぱりどう考えてもこれは飲み込みづらいですね。今の御質問にも、多分関連しているんだと思います。

それから5番目の町内会の加入率、これ目標設定値が80%という、今、考えればともそういうふうには設定しないだろうと思うような数字が設定されているんですけども、それは分かるんですけども、達成できなかったが達成に向けた取組みは明確ですというのは、これは何が明確なんですかね。この右の評価の部分の表現があんまり適切ではないんじゃないかと思うんです。達成できなかったと書いてくれば、達成できなかったと分かるんですけど。そうでもないみたいなんです。

**○事務局（佐野課長）**

今、津吉委員のほうからお話があったとおり、正直この目標を設定したときには、コロナ禍前、令和元年度ということでこの数値を設置しました。もちろん現状より多くの方が入ってくれることを望みたいという町の意味が、この目標値に現れたものだと思います。

その後、やっぱり令和3年度、4年度辺り、コロナ禍でかなり町内会の中での関係性が、なかなかイベントとかができない時期が続いて、明らかにここ15年の中で大きく下がってしまったという部分はございます。

ただ、今後一末の希望があるのであれば、やはり以前のようにまた町内会の方々にイベントや顔を合わす機会を増やしていくこと、それから政策課が町内会連合会の事務局をやっているのも、いつも議論しているPRチラシを作るなど、どうしたら町内会に加入していただけるんだという話を模索していかなければいけない中にあります。ですので、今、お話しがあつたとおり、表裏的に明確、何が明確なんだと言われるとまだ模索中で、全国どこの自治体でも大きな課題になっている部分があります。そこについては、今後、明確ではないこの問題に対して、いかに取り組んでいくかというような表現のほうが見ている方が納得のいく話だと思います。こちらの評価の仕方については、ちょっと行政がよくある、やっているんです、できているんですみたいな表現が、ちょっと寄りすぎているなという部分があるので、検討したいと思います。

#### ○事務局（町田部長）

先ほどの高梨委員のお話にもつながるんですけども、今の津吉委員の御指摘のように、実績が下がっているのにおおむね達成した、必ずしも数字だけで評価するわけではないので、先ほどの大屋の説明で御理解いただいたところもあるので、来年度以降の表現については、なぜそういう評価をしたかというそこそこの説明をしなくちゃいけないのかなというのが1点。

それからもう1点は、今、佐野課長が申し上げたとおり、取組の方向性が明確ですと書いている以上は、その方向性、具体的な取組を書かないと、言葉足らずだなと思って聞いていたので、それを補記する必要があります。その2点は様式の改善項目だと思っていますので、未来に向けてそこは改善をさせていただければと思います。

#### ○委員（高梨麻美）

先ほど佐野様からは、コミュニティのところのお話いただきましたが、大屋様の説明の中で、オンライン上のコミュニティの活性化もあつたというお話が出ていたように思いますので、むしろ地域のコミュニティの活性化という観点では、そちらもここに入れ込んで書いていって成果にしておくほうがいいんじゃないかなというふうに感じました。

#### ○委員（津吉彰郎）

80%を目標にするのと、70%目標にするんじゃない感覚が違うんだと思うんですね。80%は、多分感覚的にはほぼ全員という感じだと思います。全国的には50%切っているという話がありますよね。今、町内会への加入率は、葉山は70%を超しているところも

多いんでしょうけども。指標設定自体が違いすぎると、話が少しずれちゃうということですよ。

それから加入率を維持するという方角でいくと、どうも私なんかの感覚でいうと、イベントごとしかないのかなど。親子参加型じゃないんですね、多世代参加型のということなんで、それをどうやって誰が仕掛けていくかというようなことをいろんなところに働きかけて、手間やお金もかかりますので、どういうふうに育てていくかということだろうと思います。あまり複雑なことをいろいろ考えても達成できないんで、割合単純に、シンプルにチャレンジしてみたほうがいいのかなどというようなことを考えておりました。失礼いたします。

#### ○会長（臼井正樹）

ありがとうございます。

この辺りは長期的に課題があるところで、古くから町内会が一定の機能を果たしてきただけに、それはそれで大事にしなきゃいけないところは、まだ多々残っているんだけど、その仕掛けだけで町の中の人々のつながりが全部オーケーかという、そうでもない。だから、そこのところを意識しながら、このことをどう考えるのかという課題意識だと思いますよ。

だから、当然町内会の加入率が高いに越したことはないけれども、でも現実それが難しいときに、そうは言っても町の中で人のつながりがない、切れちゃうのはまずいわけで、そこをさっきの話でネットの話もあったけど、何かうまい形で保管できるようなものが仕掛けられれば、それを町内会の方にも御協力いただきながら仕掛けられればベストなわけで、そこの工夫をどう知恵を出すかということところじゃないでしょうか。いい話が聞けてよかったです。あといかがでしょう。

それでは、議題の（１）のまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況についての議題は、以上にしたいと思います。ありがとうございます。必要があったら、また戻って御発言ください。

## 2 葉山町デジタル田園都市構想総合戦略（案）について

#### ○会長（臼井正樹）

議題の２つ目は、葉山町デジタル田園都市構想総合戦略について、資料３になります。事務局のほうから、御説明よろしくをお願いします。

《事務局説明》

#### ○会長（臼井正樹）

御説明ありがとうございました。

前回の総合計画審議会でも御説明があったかと思いますが、内閣府と総務省との関係で、

補助金を基礎的自治体として獲得していくに当たって、計画があるのとないのではだいぶ状況が違います。要は国の枠組みに合わせて必要なものをつくっておく、しかも、それは総合計画をブレイクダウンして選んできて、それを載せるということで設定していますので、御理解いただければと思います。

あえて特に何か意見があれば、今の話聞けば、大体総合計画のほう为抓手りしていれば、これはこういうものだということで理解していただければ、それで大丈夫かと思えます。

### **3 葉山町総合計画審議会の運営について**

#### **○会長（臼井正樹）**

3つ目の議題が総合計画の審議会の運営についてということで御用意いただいている、今日は新しい総合計画の印刷物も御用意いただきましたので、よろしければここで皆さんの御発言をいただければと思いますので、(3) 計画審議会の運営についての発言に移りたいと思いますけれども、事務局のほうからまずお願いします。

#### **○事務局（大屋主任）**

こちら運営と書かせてはいただいているんですけども、運営方法について御審議いただくというものではございません。今、会長のほうからありましたとおり、今日、総合計画の全体版と概要版がついに出来上がりましたので、それぞれお渡しさせていただきました。

こちら、令和5年度、6年度の2年間にかけまして、皆様に活発な御審議をいただきまして、本当にありがとうございました。

ここで一旦一区切りということにも、計画は続いてきますが、なりますので、皆様から一言ずつコメントいただければと思ひまして、今回、議題として上げさせていただきました。

#### **○会長（臼井正樹）**

ありがとうございます。ということなので、今日は各御出席の委員の皆さんから、一言じゃなくて、二言でも構いませんので御発言いただいて、町の政策課の職員、部長以下皆さんいらっしゃるの、若い方から順番に感想を聞いて、最後、町長も参加して参加して御発言いただけるそうなので、という段取りでいきたいと思うんですけどもよろしいでしょうか。

《早川委員、高梨委員、富樫委員、伊藤委員、津吉委員、臼井会長、  
関田主事、山田主任、大屋主任、佐野課長、町田部長、山梨町長の順に発言》

**○会長（臼井正樹）**

ありがとうございました。

それでは、議題の（３）については、以上にしたいと思います。

（４）です。その他になりますけど、何かありますでしょうか。

**○事務局（大屋主任）**

こちら、第４回の議事録案についてお渡しさせていただきました。こちら皆様からの加筆修正させていただいたものをお渡ししていますので、またプラスがあれば、来週をめぐらに御連絡いただけましたら、それをもちまして修正させていただいて、町ホームページのほうで公開させていただきますので、どうぞよろしくお願ひします。以上となります。

**○事務局（佐野課長）**

ここで事務局から一つ残念なというか、お知らせがございます。

実は、臼井先生に、会長に置かれましては、平成25年から先ほどお話があったとおり第４次総合計画の基本構想基本計画から前期計画ですね。それから後期計画、そしてこの第５次の構想と３回の総合計画の策定に御尽力をいただきました。この今年度末をもって、こちらの総合計画審議会の委員のほうは御退任ということでお話がありまして、ぜひ引き続きということで、お引止めもしたかったんですけども、その臼井先生を、やっぱり多くの方が、臼井先生の知見を頼りにしている部分があつて、国も含めたくさんのお仕事にまだお力添えをされているという部分も踏まえて、ここは諦めないといけないうんだなと思ひました。今回、御退任されるということにつきまして、町として文書をいただきましたので、今回をもちまして、臼井先生は任期途中なんですけども、退任という形になります。

臼井先生、一言御挨拶いただけますでしょうか。

《臼井会長あいさつ》

**○事務局（大屋主任）**

臼井先生、本当に長い間ありがとうございました。

それでは、これをもちまして総合計画審議会、閉会とさせていただきます。本日は、お忙しい中ありがとうございました。